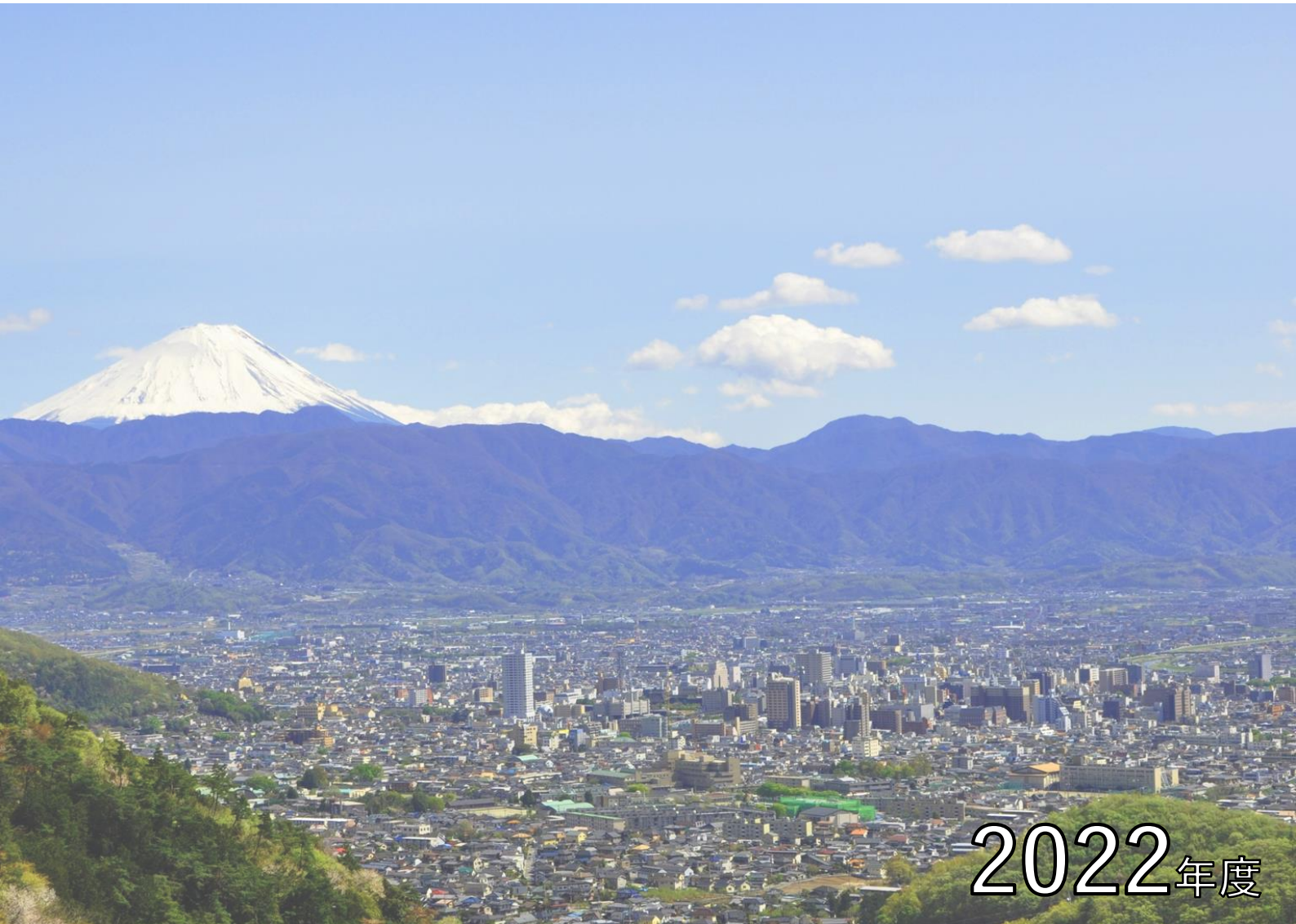


甲府市地球温暖化対策実行計画年次報告書



計画を見直しました！

甲府市がめざす将来ビジョン

自然の恵みを未来につなぎ

エネルギーの地産地消と豊かな暮らしを実現する グリーンなまち甲府

この将来ビジョンは、「甲府市地球温暖化対策実行計画」を通じて**甲府市が実現したい生活の在り方**です。温室効果ガスの排出を削減することと市民の生活向上・産業振興を同時に推進するため、2023（R5）年3月に計画を改定しました。

■実行計画の目的

地球温暖化をめぐる情勢は、気候変動問題への危機感の高まりに伴い近年大きく変化しています。脱炭素社会を目指す動きがますます加速していることを受け、本市は2023（R5）年3月に「甲府市地球温暖化対策実行計画」（以下「実行計画」という。）の見直しを行いました。新たに定めた将来ビジョン「自然の恵みを未来につなぎ エネルギーの地産地消と豊かな暮らしを実現する グリーンなまち甲府」を実現するため、実行計画において温室効果ガス排出の抑制等を行うための事項を定め推進しています。

■実行計画の位置づけ

実行計画は、「地球温暖化対策推進法第21条第1項・第3項」に基づき策定した、本市における地球温暖化対策を整理した計画です。本市では、2012（H24）年3月に「実行計画（区域施策編）」を策定し、2016（H28）年3月には甲府市役所の事務事業に関する温室効果ガス排出抑制等の取組を新たに「事務事業編」として再編するなどして改定、2021（R3）年2月には2050年の温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を表明し、地球温暖化対策に取り組んでいます。なお、実行計画の計画期間は中期2030（R12）年度、長期2050（R32）年度としています。

実行計画は、本市の総合的かつ計画的な行政運営の指針である「第六次甲府市総合計画」のもと、本市の環境に配慮した施策を展開していくうえで最も基本となる「第三次甲府市環境基本計画」を上位計画とし、都市整備に関する施策の体系的指針である「甲府市都市計画マスタープラン」等の関係計画との連携を図っています。

地域資源を生かし、市民・NPO・事業者等と甲府市が連携することで温室効果ガス排出削減と地域経済の活性化の両立を図り、**持続可能な脱炭素社会**を目指します。

温室効果ガス排出量の削減目標



甲府市ごみ減量イメージキャラクター
「リサちゃん」

2030年
中期目標

2013年度比 ▲46%

（さらに▲50%の高みに挑戦していく）

2050年
長期目標

2050年温室効果ガス排出量
実質ゼロを目指す

重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）

2050（R32）年の「ゼロカーボンシティ」及び2030（R12）年度の中期目標の実現に向けて、「6つのアクションプラン」と「地球温暖化への適応策」に取り組んでいます。2022（R4）年度は、改定前の重点プロジェクトに従って取組を行いました。
 ※下図は、2023（R5）年3月改定以前の旧計画のものです。

| 重点プロジェクト | | |
|--|--|--|
| 人づくり・地域づくり（サステイナブルな社会の創造）・日々の暮らし（スマートライフ） 「2050年の甲府市の姿」スマートシティ甲府の創造 | アクションプラン1 環境教育・温暖化防止の啓発活動の推進。 《人づくり・地域づくり・協働の推進》。 （環境教育・生涯学習・協働）。 | 1. 環境教育の推進。 2. 多様な担い手による地域の温暖化防止活動の推進。 （産学官民協働の推進）。 |
| | アクションプラン2 再生可能エネルギーの導入・普及促進。 《エネルギーの地産地消・地域エネルギー自給システムの構築》。 （再生可能エネルギーの導入）。 | 1. 太陽エネルギーの活用。 2. バイオマスエネルギーの活用。 3. 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用。 |
| | アクションプラン3 潤いある森林の整備。 《森林整備》。 （森林の整備）。 | 1. 潤いと光あふれる森づくり。 （森林整備）。 |
| | アクションプラン4 地球にやさしいライフスタイルと省エネ行動。 《環境に配慮したライフスタイルと低炭素型の移動への転換》。 （ライフスタイルの転換）。 | 1. 省エネ行動の普及促進。 2. 低炭素型の移動（スマートムーブ）の推進。 |
| | アクションプラン5 賢く、快適な低炭素型都市構造への転換。 《環境に配慮した持続可能な都市への転換・都市緑化》。 （低炭素な都市への転換・緑化の推進）。 | 1. 建物・機器による省エネの推進。 2. 緑あふれるまちづくり。 （都市緑化・ヒートアイランド対策の推進）。 3. グリーンエネルギー自動車の普及促進。 |
| | アクションプラン6 持続可能な循環型社会の構築。 《廃棄物の再資源化と環境負荷の低減》。 （持続可能な社会の形成）。 | 1. 廃棄物の3R（Reduce・Reuse・Recycle）の推進。 |
| 地球温暖化への適応策 | 1. 健康被害の予防。 2. 自然（水）災害。 3. 水環境・水資源。 4. 食料。 5. 自然生態系 | |

緩和策（6つのアクションプラン）

適応策



2050（R32）年の「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、市民・NPO・事業者等・甲府市がそれぞれ活動しています。

2050年「ゼロカーボンシティ」へつなげるための重点プロジェクト1/2

温室効果ガスを抑制するために市民・NPO・事業者等・甲府市がさまざまな取組を行っています。ここでは、その一部をご紹介します。

アクションプラン1

環境教育・温暖化防止の啓発活動の推進



環境教育副読本の配布

子どもたちに環境問題に関心を持ってもらうよう、市内小学4年生を対象に約1,800冊配布しました。【甲府市】



セミナーの開催

緑のカーテンの普及啓発のためにゴーヤの苗を配布したほか、地球温暖化対策セミナーを開催しました。

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

その他の取組

市内小中学校・保育園への学校林活動への協力（森林体験）・放課後児童クラブ等におけるペープサート等の環境学習講演会の実施・廃棄自転車の再生頒布と不用陶磁器製食器の再利用の促進【甲府市】、小学校低学年・支援学校生を対象とした「出前授業」乗車体験【山梨交通】、環境社会検定試験（eco検定）の周知【甲府商工会議所】、リサイクルプラザを活用しての啓発活動【みどりの学校】、地球温暖化防止活動推進員研修会の開催【山梨県温暖化防止センター】



アクションプラン2

再生可能エネルギーの導入・普及促進



甲府市クリーンエネルギー機器普及助成金

再生可能エネルギーの自家消費を推進するため、住宅用太陽光発電システム・住宅用蓄電池・住宅用木質ペレットストーブを設置した個人に対して助成を行いました。再生可能エネルギーを活用することで温室効果ガスの排出を抑えることができるほか、停電時にも電気を使えるというメリットがあります。【甲府市】



その他の取組

汚泥焼却炉における重油を代替エネルギー〔木質系補助燃料（ペレット）〕に転換することによるCO2削減・小水力発電所による発電の継続（山宮減圧槽に設置）【甲府市】、太陽光発電システムの使用【協同組合国母工業団地工業会】、P2G（Power to Gas）システムの技術開発及び実証研究への参画【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】、太陽光発電・太陽熱利用の新規共同施設に関する検討【甲府市地球温暖化対策地域協議会】、太陽熱温水器の有効性についてのノウハウの提供【特定非営利活動法人みどりの学校】、未利用木質資源の活用提案・イベントでの木質バイオマスストーブの普及啓発【やまなし木質バイオマス協議会】

アクションプラン3

潤いある森林の整備



間伐材の有効活用の促進

利用期を迎えつつある資源の有効活用を図るため、間伐材の販売を行い、木材の安定供給を図りました。【甲府市】



「水源林植樹の集い」の開催

甲府市の水源林は、甲府市の水道に係る水源保護地域内にあり、水源かん養や自然災害防止、地球温暖化の緩和や生物多様性の保全などの公益的機能を有しています。この恵まれた水源環境を継承する取組が必要であることから、市民との協働で植樹を行い、水源林づくりを実施しました。【甲府市】



その他の取組

市有林の間伐実施・民有林の人工林整備の実施・森林病虫害防除事業の実施・木材利用の普及啓発・森林を利用した環境教育の推進（間伐体験・ネイチャーゲームなど）・農林業まつりでの出展（木工体験コーナー）【甲府市】、民有林の間伐整備・下刈り【中央森林組合】、森林整備に関するイベント等への参加【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

2050年「ゼロカーボンシティ」へつなげるための重点プロジェクト2/2

アクションプラン4

地球にやさしいライフスタイルと省エネ行動



サイクル・アンド・ライド事業の推進

バス路線が充実しているバス停周辺等の施設内に「サイクル・アンド・ライド」駐輪場を設置し、公共交通利用者の利便性の向上を図っています。【甲府市】



その他の取組

分かりやすい公共交通情報の提供・「やまなしエコ通勤トライアルウィーク」への参加【甲府市】、緑のカーテンの設置【協同組合国母工業団地工業会・山梨みらい農業協同組合・甲府市公立小中学校長会・生活協同組合パルシステム山梨 長野・特定非営利活動法人みどりの学校・甲府市地球温暖化対策地域協議会】、「うちエコ診断」の実施【生活協同組合パルシステム山梨 長野】、山梨県バス総合案内システム「やまなしバスコンシェルジュ」の運営にバス事業者として参画【山梨交通㈱】



アクションプラン5

賢く、快適な低炭素型都市構造への転換



甲府市電気自動車普及助成金

電気自動車の普及促進を図るため、購入した個人に対して助成を行いました。【甲府市】

事業所の緑化推進及び費用の一部助成

敷地面積1,000㎡以上の事業所で敷地面積に対する5%以上の緑化を行う場合、その緑地整備の費用の一部を助成しています。【甲府市】

FCV（燃料電池車）タクシーの運用

社用車として導入した燃料電池車1台をタクシーとして運用し、構内に設置された水素ステーションとともに市民や事業者に普及啓発を図りました。【山梨交通㈱】



その他の取組

防犯街路灯のLED灯への補助・商業団体共同施設設置事業（街路灯のLED化）・商店街LED街路灯電気料補助金の交付・花いっぱい緑いっぱい運動による「地域緑化」の推進・家庭の生け垣緑化の推進及び費用の一部助成・荒廃した農地の再生整備・透水性舗装の実施【甲府市】、高効率設備の普及促進【東京ガス山梨㈱】、家庭用蓄電池の普及【甲府市自治会連合会】、社有車・公用車への電気自動車の導入・PR【協同組合国母工業団地工業会・甲府商工会議所】

アクションプラン6

持続可能な循環型社会の構築



まだ食べられるのに もったいないじゃん すてないで!

甲府市食品ロス削減マッチングサービス

甲府タベスケ

登録はこちら

利用者

お店

食品ロス削減マッチングサービス「甲府タベスケ」の活用

事業者・利用者の登録数増加を図り、ごみ減量化の推進を図りました。【甲府市】

もみ殻燻炭機の設置

精米により発生するもみ殻からもみ殻燻炭を製造し、4パーミル・イニシアチブによる地球温暖化対策に取り組みました。希望者に有料で配布することで農地に還元し、土壌改良及び農産物の品質向上も目指しています。【山梨みらい農業協同組合】

その他の取組

生ごみ処理機器（容器式・電気式）の購入補助・有価物集団回収運動の奨励・使用済み小型電子機器の回収・生ごみ処理器「キエーロ」普及事業・プラスチック製容器包装の分別回収・下水污泥焼却灰の再利用・家庭で不用になった食用油の分別回収・EMボカシの配付・しんぶんコンポストキットの配付【甲府市】、事業場産業廃棄物リサイクルの推進【東京電力パワーグリッド(株)山梨総社】、会員企業内食堂より発生した生ごみの堆肥化及び廃食用油の家畜の飼料化【協同組合国母工業団地工業会】

地球温暖化への適応策



「クールシェアスポット」の設置・水の配布

熱中症対策の一環として上下水道局本庁舎1階ロビーを開放しました。市民の休憩スペースとして活用してもらうほか、希望者には「甲府の水」を配布しました。【甲府市】



その他の取組

熱中症予防対策（子育て支援アプリ「すくすくメモリーズ」を活用したプッシュ通知・甲府市観光案内所にて外国人向けのパンフレット設置やポスター掲示・民間施設にクールシェアスポットの設置依頼）・風水害における防災意識の啓発活動【甲府市】、災害救援自販機の設置【山梨みらい農業協同組合】

こちらの取組は、市民の方も利用できます！気になる取組がありましたらお問い合わせください。



2022（令和4）年度の施策の実施状況（1/2）

目標値が定量化されている取組実績・進捗率を数値・%で表しています。

なお、目標値が定量化されていない実績については「実施・未実施・一部実施」で表しています。

| 番号 | 取組内容-1 | 取組内容-2 | 取組内容-3 | 取組内容-4 | 目標値 | R4年度実績 | 進捗率・達成率 | |
|----|--|--|-----------------------------|---|---|--------------|---------|---|
| 1 | 環境教育・温暖化防止の啓発活動の推進 | (1) 環境教育の推進 | ①幼児・学校教育における環境教育の推進 | 環境教育事業への参加者数 | 7,600人/年 | 2,067人 | 27.2% | |
| | | | ②地域・家庭における環境教育の推進 | 地球温暖化防止関係の出前講座や講習会・イベント等の参加者数 | 2,500人/年 | 363人 | 14.5% | |
| | | | ③甲府市リサイクルプラザの活用 | 甲府市リサイクルプラザを活用した環境教育の推進 【参考】 環境関連講座や学習会の開催 7回90人 施設総利用者数 58,051人 | 目標値なし | 実施 | ◎ | |
| | | (2) 多様な担い手による地域の温暖化防止活動の推進（産学官民協働の推進） | ①地域の温暖化防止活動等の推進 | 地域で活動する団体と協働・連携によるイベント等の開催 | 5回/年 | 4回 | 80% | |
| | | | | 「こうふのecoの活性化」及び市域の温暖化対策の情報発信（甲府市環境コミュニティの活性化） | 目標値なし | 実施 | ◎ | |
| | | | ②地域の人材育成 | 人材育成数 参考：令和4年度 15人(委嘱期間は2年) | 延べ100人 2030(R12)年度まで | 延べ79人 | 79% | |
| 2 | 再生可能エネルギーの導入・普及促進 《エネルギーの地産地消・地域エネルギー自給システムの構築》 | (1) 太陽エネルギーの活用 | ①太陽光発電システムの導入促進 | 太陽光発電システムの導入 | 3,500 t-CO2/年 | 3916.48t-CO2 | 111.9% | |
| | | | ②市民共同発電の推進 | ・市民、NPO等との連携による推進 ・市民共同発電設備の導入 | 目標値なし | 実施 | ◎ | |
| | | | ③太陽熱エネルギーの活用 | ・太陽熱エネルギーの活用の推進 ・太陽熱エネルギー設備の導入 | 目標値なし | 実施 | ◎ | |
| | | (2) バイオマスエネルギーの活用 | ①バイオマスエネルギーの活用と普及促進 | ・木質バイオエネルギーの活用推進 ・木質ボイラー・木質ペレットストーブ等の普及促進 ・バイオマス資源のエネルギー活用の推進 | 目標値なし | 実施 | ◎ | |
| | | | (3) 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用 | ①地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用 | ・地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用と普及促進 ・地中熱・小水力等再生可能エネルギー設備の導入 | 目標値なし | 実施 | ◎ |
| | | | | | | | | |
| 3 | 潤いある森林の整備 《森林整備》 | (1) 潤いと光あふれる森づくり（森林整備） | ①森林整備の推進 | 森林（市有林、民有林）整備の推進 | 21,500 t-CO2/年 | 21,500 t-CO2 | 100% | |
| | | | ②県産材等木材の利用促進 | 県産材等木材の建築物等への利用促進 | 目標値なし | 実施 | ◎ | |
| | | | ③森林の保護、育成に関する意識の醸成 | 森林・環境保全イベント等の開催 | 目標値なし | 実施 | ◎ | |

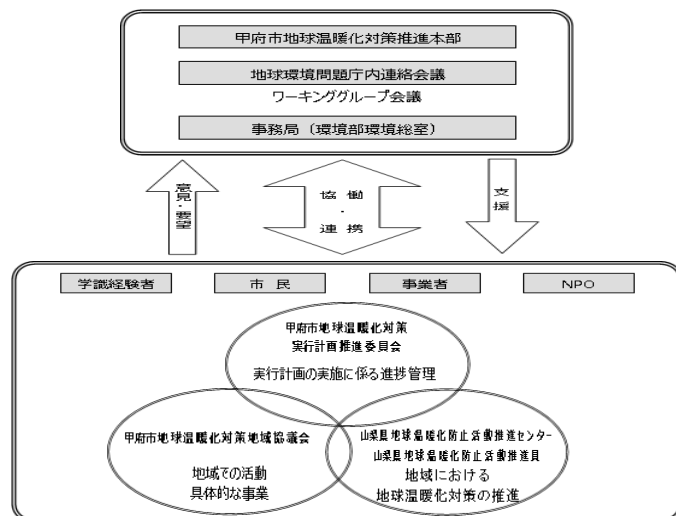
2022（令和4）年度の施策の実施状況（2/2）

| 番号 | 取組内容-1 | 取組内容-2 | 取組内容-3 | 取組内容-4 | 目標値 | R4年度実績 | 進捗率・達成率 |
|----------------------|---|--|---|--|----------------------------------|----------------|---------|
| 4 | 地球にやさしいライフスタイルと省エネ行動 | (1) 省エネ行動の普及促進 | ①省エネ行動の普及促進 | ・省エネ意識の高揚、醸成及び省エネ機器等の情報の提供、発信 ・エネルギーの見える化による省エネ行動の実践 ・高効率機器や省エネ機器の普及促進 | 目標値なし | 実施 | ◎ |
| | | | ②緑のカーテンづくりの推進 | 緑のカーテンづくりイベント等参加者数 | 100人/年 | 138人 | 138.0% |
| | | (2) 低炭素型の移動（スマートムーブ）の推進 | ①エコドライブの推進 | ・エコドライブの普及促進 ・講習会等参加者数 | 100人/年 | 94人 | 94.0% |
| | | | ②公共交通機関の利用促進 | 甲府市公共交通体系基本構想の推進による公共交通機関の利便性の向上 | 目標値なし | 実施 | ◎ |
| | | | | エコ通勤優良事業所数及びこうふエコ通勤デー参加協力事業所数 | 延べ15ヶ所 2030（R12）年度まで | 延べ18ヶ所 | 120% |
| ③自転車による環境にやさしい移動の推進 | レンタサイクル等の推進及び電動アシスト自転車等の普及促進 | 目標値なし | 実施 | ◎ | | | |
| 5 | 賢く、快適な低炭素型都市構造への転換 《環境に配慮した持続可能な都市への転換・都市緑化》 | (1) 建物・機器による省エネの推進 | ②省エネ機器の普及促進 | 省エネ住宅の普及による温室効果ガス削減量 | 100 t - CO2/年 | 134.2t-CO2 | 134.2% |
| | | | ②省エネ機器の普及促進 | ・トップランナー制度の情報提供 ・省エネ機器の導入によるCO2削減の推進 | 目標値なし | 実施 | ◎ |
| | | | ③LED照明の普及促進 | 公共施設等への率先的なLED照明の導入による普及促進 参考：令和4年度 83.349 t - CO2 | 延べ4,500 t - CO2 2030（R12）年度まで | 延べ1086.37t-CO2 | 24.1% |
| | | (2) 緑あふれるまちづくり（都市緑化・ヒートアイランド対策の推進） | ①都市緑化の推進 | 都市緑化の推進（緑化植樹イベントの開催） | 目標値なし | 実施 | ◎ |
| | | | ②農地の活用 | 耕作放棄地の有効活用 | 目標値なし | 未実施 | × |
| | | | ③建物、道路等のヒートアイランド対策の推進 | 道路・建物のヒートアイランド対策の推進 参考：浸透性舗装等の促進 令和4年度 舗装面積3,373.71㎡ | 目標値なし | 実施 | ◎ |
| | | (3) クリーンエネルギー自動車（電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド車等）の普及促進 | ①クリーンエネルギー自動車の普及促進及び導入検討 | クリーンエネルギー自動車の普及のための情報提供及び導入促進 | 目標値なし | 実施 | ◎ |
| ②充電設備の整備、水素ステーションの整備 | ・水素ステーション整備の推進 ・充電設備の整備 | | 急速 20ヶ所 普通 50ヶ所 2030（R12）年度まで | 急速 12ヶ所 普通 30ヶ所 | 急速 60.0% 普通 60.0% | | |
| 6 | 持続可能な循環型社会の構築 《廃棄物の再資源化と環境負荷の低減》 | (1) 廃棄物の3R（Reduce・Reuse・Recycle）の推進 | ①ごみの減量化の推進 | ・食品ロス削減の取組の推進 ・生ごみの堆肥化の推進 | 目標値なし | 実施 | ◎ |
| | | | | ・一人1日当たり家庭系排出ごみ ※「家庭系排出ごみ」＝「家庭系燃えるごみ」＋「家庭系燃えないごみ」 | 556.2g 2022（R4）年度 | 573.2g | 97.0% |
| | | | ②資源物の分別排出の推進 | ・プラスチック容器包装の分別回収の推進 ・ごみへらし隊による出前講座の実施 | 目標値なし | 実施 | ◎ |
| ③バイオマス資源の循環による活用 | バイオマス資源の循環による活用 | 目標値なし | 実施 | ◎ | | | |

推進体制

本市は、実行計画に関する検証・推進方法について協議を行うため、市民、NPO、事業者、学識経験者、行政等の代表者で組織する「甲府市地球温暖化対策実行計画推進委員会」を設置し、実行計画の評価・見直しを行っています。また、市役所の庁内組織においては「地球環境問題庁内連絡会議」や地球温暖化対策に関する施策について本市が統一かつ総合的に推進していくことを目的とした「甲府市地球温暖化対策推進本部」があります。

庁内及び推進委員会において、実行計画の進捗管理を行い、Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（改善）のPDCAサイクルによる施策の着実な推進を図っていきます。



推進委員会委員名簿

委嘱期間：令和4年12月26日～令和6年12月25日

| 代表区分 | 氏名 | 所属 |
|----------|-----------------|--|
| 学識経験者 | 〈委員長〉 鈴木 嘉彦 | 山梨大学名誉教授 |
| | 〈副委員長〉 箕浦 一哉 | 公立大学法人山梨県立大学教授 |
| 行政関係者 | 加藤 栄佐 | 山梨県環境・エネルギー部 環境・エネルギー政策課長 |
| 地域関係者 | 佐藤 久延 | 山梨みらい農業協同組合参事 |
| | 米山 敏彦 | 中央森林組合代表理事組合長 |
| | 中込 良夫 | 協同組合同母工業団地工業会専務理事 |
| | 原田 浩次 | 甲府商工会議所環境問題委員会副委員長 |
| エネルギー供給者 | 望月 真 | 山梨交通(株)取締役執行役員総務部長 東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社 甲府事務所次長 |
| | 堀内 忠 | 東京ガス山梨(株)取締役企画総務部長 |
| 教育関係者 | 江頭 俊哉 | 甲府市公立小中学校長会 |
| 市民団体 | 小谷 眞弓 | 生活協同組合パルシステム山梨 長野副理事長 |
| | 芦澤 公子 | 特定非営利活動法人みどりの学校理事長 |
| | 橋元 傑 | 甲府市地球温暖化対策地域協議会副会長 |
| | 鳥屋尾 健 | 山梨県地球温暖化防止活動推進センター 事務局長 (公益財団法人キープ協会環境教育事業部長) |
| | 志澤 美香 | やまなし木質バイオマス協議会 事務局 |
| 市民代表 | 山本 勅夫 | 甲府市自治会連合会 理事 |

推進委員会委員からの意見

■行政の補助金制度などにより、民間活動の安定した運営がされるのが望ましい。■小学校では、授業時間を割いて環境問題を扱っている。学校は経済的・人的資源が不足しているため、出前事業を行ってくれる事業者を紹介してもらえると助かる。■環境に関心がある方・ない方の落差が激しい点を案じている。関心がない層にどうやって伝えていくかが課題であり、取組を行うことでどのような効果があるか伝えることが重要である。■2050温室効果ガスゼロは、一事業者では達成しえない目標である。水素・再生可能エネルギーといった特定のものにフォーカスされがちだが、安全保障・エネルギー保障・経済合理性といった観点からエネルギーは多様でなくてはならない。■推進委員会のメンバーで連携して、環境にやさしい生活を訴える機会（イベントやパンフレット等）を作っていければ良いと思う。

編集・発行/
甲府市環境部環境総室環境政策課
〒400-0831
山梨県甲府市上町601-4
TEL055-241-4363
甲府市温暖化対策情報サイト
「こうふのeco」
<https://www.city.kofu.yamanashi.jp/smartcity/>

